



水族館といえば、色鮮やかな熱帯の魚やマグロやマンボウなどの大型の魚が大きな水槽を悠然と泳ぐ姿を連想するかもしれない。海水魚を展示する水族館が多数を占める中、埼玉県にすんでいる淡水魚類を中心に、淡水魚の魅力を発信し続ける「さいたま水族館」取材した。

荒川水系の魚に会える

さいたま水族館は、国指定天然記念物である「食虫植物ムジナモの自生地」に隣接する羽生水郷公園内に、「遊びの中で自然を学ぶこと」を目的に、淡水魚の展示施設として昭和58年に開館した。平成27年には、特別展示室棟が新たにオープンした。

埼玉県の貴重な生き物である「3つの宝」をご存じだろうか。「ムジナモ(埼玉県羽生市の宝蔵寺沼ムジナモ自生地は、前述のとおり国指定天然記念物)」、「ムサシトミヨ(同県熊谷市の元荒川ムサシトミヨ生息地は、同県指定天然記念物)」、国指定天然記念物である「ミヤコタナゴ」の3つで、これらの稀少生物を一挙に鑑賞することができる。

近年の年間来館者数は30万人前後で、他県からも多くの方が訪れ、その6割がリピーターとのことである。

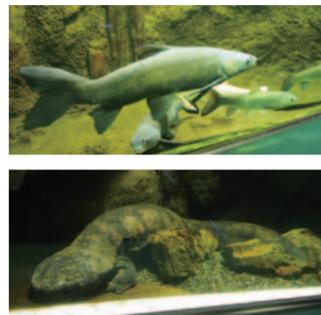
3つの宝 埼玉県の貴重な生き物

ムサシトミヨ トゲウオ科
現在では埼玉県熊谷市にしかすんでいない魚です。生息地が県の天然記念物に指定され、また埼玉県の魚としても指定されています。

ミヤコタナゴ コイ科
日本の固有種で、国指定の天然記念物である稀少な魚です。現在、県内の野生個体は絶滅し、さいたま水族館の他、滑川町と所沢市の施設で飼育保護されています。

ムジナモ モウセンゴケ科
さいたま水族館に隣接する宝蔵寺沼が日本唯一の自生地となり、自生地が国の天然記念物に指定されている稀少な食虫植物です。

本館



埼玉県内の荒川に生息するイwanaやウグイなどの淡水魚類を中心に、オオサンショウウオなどの両生類や、ザリガニなどの甲殻類などを上流、中流、下流の区分に大別し展示している。

特別展示室棟



常設の本館展示を補うべく、平成27年にオープン。飼育課の皆さんがアイデアを出し合い、四半期毎に展示テーマの入れ替えを行っている。趣向を凝らした演出で、常設展示では味わえない企画を楽しむことができる。取材当時、特別展『あれこれコイ展〜コイにまつわるエトセトラ〜』[平成30年2月12日(月祝)まで]が開催中であった。

庭池周辺



屋外の3つの池では、テラピア、チョウザメ、ニシキゴイなどを展示している。餌の販売もしており、餌やりを通じて、魚たちとふれあうことができる。

淡水魚の魅力を伝えたい

館内で目を見張るのは、細部までこだわったその展示手法である。「淡水魚だけに特化して、1つの水槽に1種類の生き物を展示することを基本としているので、じっくり1匹1匹の魚を見ることができます。淡水魚は小さくて地味な魚だと思われるかもしれませんが、海水魚とは違う、繊細なおもしろさがたくさんありますよ。」案内していただいた飼育課長の矢辺さんが話してくれた。

「今は見ることができなくなってしまった貴重な生き物も『生きた図鑑』として、ここで見るができます。来館者の中には、「昔はこんな生き物がいたんだよ」とお孫さんに聞かせている姿も目にします。3世代で訪れるファミリーも多いですね。」世代を超えて埼玉県内の昔の姿を伝える役割を担っている点も、この水族館の大きな魅力である。

水族館のスタッフの皆さんは、多くの水槽の餌やりや定期清掃、魚ごとに異なる細やかな温度管理など、多くの仕事をこなしている。が、そんな中でも、利根川・荒川に新たに生息する魚がいないか、埼玉県水産研究所などから常に情報収集し展示に反映したり、生き物ごとの生態を解説したパンフレット「いきものクラブ」を作成したり、特別展示の企画をしたりと、来館者を飽きさせないための取り組みを続けている。

スタッフの皆さんによる、魚たちへの愛情こもった展示の数々を通じて、個性あふれる淡水魚の魅力を是非味わってみてほしい。



淡水魚ならではの、川の浅い水深を再現。岩や流木を置いて自然に近い姿で展示されている。



魚たちとのふれあい体験ができる様々なイベントを開催。イベント目当てのリピーターも多い。



ゲンゴロウなど稀少な水生昆虫を展示。「1つの水槽に1種類」の細やかな展示。



展示だけでは伝えきれないそれぞれの生き物の生態を、1種類ごとにパンフにして紹介。



水槽の裏側に回り込むと、正面からあたかも水槽の中にいるかのような写真が撮影できる。



魚に関する広い知見と愛情。案内して下さった御菩薩池さん(左)と矢辺さん(右)。

利用案内

開館 9:30~17:00(12~2月は16:30まで)
入館は終了時間の30分前まで
3月~11月 毎月第1週月曜休館
12月~2月 毎週月曜・火曜休館
12月29日~1月1日 休館

入館料 大人310円(特別展開催中は410円)
小人100円
駐車場 1,100台(無料)
所在 埼玉県羽生市三田ヶ谷751-1
電話 048-565-1010



自動車▶ 東北自動車道羽生ICから栗橋方面へ3km、国道122号小松台交差点から栗橋方面へ9km、県道46号線橘瀬川交差点から羽生市内方面へ4km
電車▶ 東武伊勢崎線羽生駅または加須駅からタクシー利用約15分